



お江戸舟遊び瓦版 1111号

水彩都市江東 こころ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

北砂まぜこぜマルシェ

日時：7月19日 10:30～14:30 所：ゆめ工房
はじめに

2027年に江東区北砂において、全ての人たちにとって安心できる居場所の開所を目指している。それに向けて、近隣の方々との相互交流の場づくりをはじめ、施設に必要な情報収集やネットワーク創りのため、毎月第3土曜日にマルシェが開催されている。次は9月20日！

江東区内に広がる福祉施設と一般的な事業者をまぜこぜにしたマルシェで、特徴は障害者施設で働いている仲間が、全てのブースで様々な業務を出店者とともにに行うことにある。人びとが買い物の中で自然な形で、障害ある人と触れ合える機会を創り出している素敵なマルシェとなっている。

子ども食堂ならぬ誰もが食べられるユニバーサル食堂は沢山の人のびとの交流の場・安心できる居場所となっていた。災害列島化しつつある日本にとって人と人の交流こそ大切なものはない！！



食堂の受付さん



たい焼き・かき氷移動販売車



北砂アカデミア防災塾・荒川氾濫



輪投げリサイクルショップ



お買い得コーナー



ひまわり



裏方は大忙し



まうまんま



リサイクル衣料

参議院議員選挙 自公政権過半数得られず

1. 参議院議員選挙スタート

7月3日参議院選がスタート、東京選挙区掲示板にポスターが貼られ始めた。候補者は自民党：武見敬三、鈴木大地、公明党：川村雄大、立憲民主：塩村あやか、奥村政佳、国民民主：牛田まゆ、奥村よしひろ、共産党：吉良よし子、維新：音喜多駿、参政党：さや、れいわ：山本義司、社民：西美友加等の32名に達した。



選挙戦中・前後にも、農林水産大臣の失言「コメは買ったことはありません」、参院予算委員長の失言「運のいいことに能登で地震」、参政党代表の「高齢の女性は子供を産めない」等が賑わせた。選挙戦の大きなテーマは経済、社会保障などが中心だったが、途中から外国人問題・日本人ファーストが大きな課題で、参政党への批判も大きくなった。

2. 結果

21日の朝刊には「自公惨敗、国民・参政党躍進」と大きな見出しが躍った。自公で47名と非改選を加えても過半数を割ることになった。民主党は現状維持、国民は17名、参政党は14名の当選と躍進した。

共産党が減少し、れいわが微増、社民党は1名当選し政党要件を確保することができた。

東京選挙区では、自民党1名、公明1名、立憲1名、国民2名、参政党1名、共産1名の7名が当選した。日本人ファーストで話題となった参政党が躍進したのが注目される。フランスのルモンド紙は、右翼新党が排外主義を掲げて躍進したと報じていた。

政党	新勢力	選挙前	当選	選挙区	比例
自民	101	114	39	27	12
立民	38	38	22	15	7
国民	22	9	17	10	7
公明	21	27	8	4	4
維新	19	18	7	3	4
参政	15	2	14	7	7
共産	7	11	3	1	2
れいわ	6	5	3	0	3
保守	2	0	2	0	2
社民	2	2	1	0	1
みらい	1	0	1	0	1
みんな	0	0	0	0	0
諸派	1	2	0	0	0
無所属	13	12	8	8	-
計	248	240	125	75	50

3. 今後の政治

結果は衆参両院で少数与党となり、従来続いてきた自公政治は難しくなった。自民党より右ともみられる参政党の今後の展開が気になる。

ヨーロッパを見ると主要国はいずれも多党化し、連立政権になっている。世界で幸福な国と言われるデンマークやフィンランドなどはいずれも連立政権が続いている。日本も国民の考えが多様化し、現実の政治を進めるには少数与党ではなく、連立政権が適当だ。

所感：自公過半数割れで、総理の退陣が課題となっているが、今後の少数与党がどうなるかが大きな課題だ。

世界最高度の幸福な北欧のような連立政権の民主主義の政治を期待したい。小学生時代にも民主主義教育を行い、6年生にデモまで教える北欧の民主主義教育が近くなることを祈念したい。(文責 中瀬)

